

重点目標 2 教育活動を支える環境の整備

市民に提供する教育は、質の維持・向上が必要です。そのためには教職員や地域の人材を育成するなどソフト面の充実と、学校施設・設備の整備や ICT 機器が十分に活用できる環境整備などのハード面の充実が求められています。また、児童生徒を取り巻く様々な環境についても、安全・安心が求められています。

この課題解決のために、以下のことを重点事項として取り組みます。

重点事項

- 1 安全・安心、快適で質の高い教育環境の整備
- 2 地域（コミュニティ）と学校教育の共生
（地域と共にはぐくむ）

重点事項 1：安全・安心、快適で質の高い教育環境の整備

[現状と課題]

校舎や体育館については、そこで学ぶ児童生徒の安全を確保するとともに、災害時には市民の避難施設になることも考慮しなければなりません。また、特別に配慮を必要とする児童生徒や市民にも配慮したユニバーサルデザインを基調とした整備を進めなければなりません。児童生徒 1 人に 1 台導入をした学習用のタブレット端末についても、十分な活用ができるよう教職員研修の実施や安定した運用を行うための支援が必要とされています。

また人的環境として、児童生徒一人ひとりのニーズを把握し、それに応じたサポートができる支援体制も整備していかなければなりません。

社会教育活動・スポーツ活動・文化活動の充実には、その基盤となる施設整備が必要です。そのためには、施設の安全確保を図るとともに、市全体の施設整備との整合性を図りながら、計画的な整備を進めていく必要があります。

[具体的施策]

- (1) 学校施設・設備の整備（教育施設の整備・教育機器の充実）
 - 施設の計画的な修繕
 - ICT機器の安定した運用管理・通信環境の強化
 - 校務支援システムの運用支援
- (2) 学校教育への支援
 - 特別支援教育支援員の配置
 - 情報教育指導員の充実
 - 理科観察実験支援員の配置
- (3) 社会教育施設・スポーツ施設・文化施設の基盤整備

《指標》

	指標名	単位	現状(5年度)	目標(6年度)
1	特別支援教育支援員の配置	人	15人	17人

重点事項 2：地域（コミュニティ）と学校教育の共生

〔現状と課題〕

本市が推進する教育の一元化を図るためには、学校・家庭・地域社会が一体となって子どもの教育に当たっていくことが必要です。そのための一方策として、「学校運営協議会」を平成19年度に嬉野中学校に立ち上げ、その後、平成22年度は塩田中学校、平成24年度は吉田中学校、平成25年度は大野原中学校と、順次立ち上げてきました。そして平成26年度には、市内全小学校にも「学校運営協議会」を開催し、地域参画型の学校づくりを推進してきました。

また、嬉野市が平成23年度には全ての小学校区で地域コミュニティが立ち上げられたのを受け、『新しい公共』型学校の創造の企画を進めています。

具体的には、学校運営協議会の目的である「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校の資源を積極的に地域の活動に提供したり、地域からの声を学校運営に取り入れたり、地域住民が学校の教育活動を支援したりして、学校のマネジメント力向上や教育の質の向上を図っていきます。

特に、地域コミュニティ、関係諸機関・団体とのネットワーク、また生涯学習の点から、学校だけにとどまらず組織的に、永い時間をかけて、広範囲に開かれた教育の充実を推進していかなければなりません。

〔具体的施策〕

- ★ コミュニティスクールと地域コミュニティとの連携強化（地域と共にはぐくむ）
 - (1) 地域と学校が協働し、当事者として学校運営に参画する地域とともにある学校づくりを推進する。
 - (2) 目的にそって行事を精選し、同時に地域の人材バンクを充実させる。
- ★ 情報発信と広報の充実（地域と共にはぐくむ）
 - (3) 学校紹介パンフレット等の作成やHP等を活用し、学校だよりやコミュニティ便りの情報発信を行う。
- ★ 部活動 土日の地域移行へ向けた取組（地域と共にはぐくむ）
 - (4) 部活動検討委員会を開催し土日部活の地域移行を進める。
- ★ 家庭・地域との連携（地域と共にはぐくむ）
 - (5) 「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組み、1日の生活リズムの確立を図る。
 - (6) 児童向けの認知症サポーター養成講座、心のバリアフリー講座を実施する。
- ★ 校長のマネジメント力による学校の教育的課題の解決
 - (7) 児童生徒の体験活動を充実させ、唯一無二の魅力ある学校づくりを推進する。
 - (8) 校長の学校経営ビジョンに基づく実施計画のプレゼンテーションを審査し、校長の独自性・主体性を生かした学力向上対策などの取組を推進する。

〈指標〉

	指標名	単位	現状（5年度）	目標（6年度）
1	児童向けの認知症サポーター養成講座の実施	校	-	8/8
2	校長先生の知恵袋事業の成果発表	回	1月のプレゼンの際に発表	1月のプレゼンの際に発表